



冬休みに伸ばす学力



今週月曜 16 日に、平戸市が独自に実施している学力調査を全学年で実施しました。2 学期までの学習の定着状況を見るためのテストです。4 月に実施された全国の学力・学習状況調査（6 年生対象）と県の学力調査（5 年生対象）は、前学年までの学習の定着度を確かめるものですが、今回のテストは、年度途中の状況をみて、進級までの指導に生かすという意味合いもあるテストです。多めの問題量とひとひねりある問題に、子どもたちも苦労しながら取り組んでいました。

問題の傾向として、国語では文章の中身をしっかりと読み取る力（登場人物の心情なども想像したり推測したりする力も含む）、自分の考えを文章に表す力が、算数では、計算や公式などの知識や技能だけでなく、日ごろの生活場面の中で算数で得た「考え方」を生かして答えを導く力や、答えを出すためにどう考えたかを筋道立てて説明する力などが問われるものが増えてきました。

来週 25 日から、冬休みに入ります。2 学期までのおさらいのほかに、例えば、年末年始に家族や親せきに、自分の 2 学期の様子や新年のめあてなどについて自分の言葉ではっきりと伝えたりすることも、学力を高めることにつながります。また、少し考える余地を残して、子どもたちの力に応じた「おつかい」や「仕事の手伝い」に多く取り組ませることなどで、学んだことを生かしたり、教科書には載っていない『知恵』をみがいたりすることもできます。勉強は、机の前ですることだけではありません。家庭の中でのご家族の様々な言葉かけが、「生きた学習」になります。

冬休みのプリント課題は少なめに出されます。その分、年末年始の年中行事などに、その意味を伝えながらふれさせたり、時間があるときにゆったり読書に向かわせたり、効率のよさや仕上がり的美しさを工夫させながら部屋の片づけに取り組ませたり。この時期に家庭や地域の中でしかできない多くの体験をさせていただければと思います。

講師をお招きして・・・



学校外から講師をお招きして、二つの学習がありました。一つ目は、12 日の午後に、学校薬剤師の北原敏弘先生をお招きして「薬物乱用防止教室」を 5・6 年生を対象に行いました。身近なタバコや社会問題ともなっている麻薬などの恐ろしさについて、専門的な立場からお話ししていただきました。「こわさがわかった、自分は絶対に手を出さない。」といった感想をどの子も書いていました。



二つ目は、16 日の午後に、不審者が侵入してきたとの想定で行った避難訓練です。今回は平戸署の松本さん、児童の安全を見回ってくださるスクールサポーターの松山さん、大島駐在所の五十嵐さんにご来校いただき、不審者役を演じていただいたり、訓練後の講評をいただいたりしました。



実際に不審者が入ってきたときには、どう対処すべきか、現状で足りないことは何か、そういったことに改めて気づかされた訓練でした。子どもたちは、パニックを起こすことなく、予想よりも落ち着いて参加できたと、講評の中でほめていただきました。

←**反射リストバンド** ※交通事故から身を守る「リストバンド」を平戸署交通課から全員分いただきました。薄暗い時の外出時に、身に付けさせていただければと思います。（本日配布しています。）